

昭和58年度業績目録

著 書

口腔衛生学教室

近藤 武(共著)：新衛生学公衆衛生学。医歯薬出版(東京)1983。(4月)

歯科補綴学教室第I

橋本京一(分担執筆)：クラスプと審美性。医歯薬出版(東京)1983。(5月)

口腔外科学教室第II

深谷昌彦，待田順治ら編：口腔外科診断学。書林(東京)1983。(4月)

山岡 稔(分担執筆)，深谷昌彦ら編：口腔外科診断学。書林(東京)1983。(4月)

歯科矯正学教室

出口敏雄：Unusual extractionとしての犬歯抜去について。カラーアトラス歯科臨床講座8。医歯薬出版209—212, 1983

衛生学院

橋口緯徳：歯科衛生士概論。電算印刷(長野)1983。(5月)

論文発表

口腔解剖学教室第I

恩田千爾，峯村隆一，都筑文男：下顎大白歯の歯頸部ほうろう(エナメル)突起。松本歯学，9(2)：196—203, 1982.

口腔解剖学教室第II

Sahara, N., Fukasawa, K., Harada, M. and Suzuki, K. : Immunohistochemical localization of dipeptidyl peptidase IV in rat digestive Organs, *Acta Histochem. Cytochem.* 16 : 494—501, 1983.

Matsuura, S., Sahara, N. and Suzuki, K. : Fine structure of submandibular glands of mice

with testicular feminization (Tfm/Y). *Cell and Tissue Res.* 235 : 295—301, 1984.

Sahara, N. and Suzuki, K. : Ultrastructural localization of dipeptidyl peptidase IV in rat salivary glands by immunocytochemistry. *Cell Tissue Res.* 235 : 427—432, 1984.

口腔生理学教室

Suzuki, T. : The mechanism of rhythmic hyperpolarization in hamster submandibular ganglion cells. *Bull. Tokyo dent. Coll.* 24 (1) : 37—59, 1983.

Suzuki, T. : Slow rhythmic membrane potential changes in hamster submandibular ganglion cells. *Bull. Tokyo dent. Coll.* 24 (2) : 101—126, 1983.

熊井敏文 野村浩道：カエルの顎反射および舌反射の筋電図学的研究。松本歯学，9(1)：7—17, 1983.

Asanuma, N. and Kusano, K. : Calcium binding sites of hamster parasympathetic neurones, *Journal of the Autonomic Nervous System*, 8 : 45—56. 1983.

Suzuki, T. and Kusano, K. : Rhythmic membrane potential changes in hamster parasympathetic neurons. *Journal of the Autonomic Nervous System*, 8 : 213—236, 1983.

Suzuki, T. : Effects of cyclic nucleotides on hyperpolarizing potentials of hamster submandibular ganglion cells. *Bull. Tokyo dent. Coll.* 25 (1) : 27—52, 1984,

Nomura, H. and Kumai, T. : Jaw-closing reflex elicited by water stimulation of oral mucosa in the frog. *Jpn. J. Oral Biol.* 26 (1) : 259—261. 1984.

口腔生化学教室

Hiraoka, B. Y., Fukasawa, K. and Harada, M. : Purification and characterization of two novel arginine aminopeptidases from *Streptococcus mitis* ATCC 9811. *J. Biochem.* 94 : 1201—1208, 1983.

Fukasawa, K. M., Fukasawa, K., Hiraoka, B. Y. and Harada, M. : Characterization of a solu-

ble form of dipeptidyl peptidase IV from pig liver. *Experientia* **39** : 1005—1007, 1983

Fukasawa, K., Fukasawa, K. M., Hiraoka, B. Y. and Harada, M. : Purification and properties of dipeptidyl peptidase II from rat kidney. *Biochim. Biophys. Acta*, **745** : 6—11, 1983.

Sahara, N., Fukasawa, K., Harada, M. and Suzuki, K. : Immunohistochemical localization of dipeptidyl peptidase IV in rat digestive organs. *Acta Histochem. Cytochem.* **16** (5) : 494—501, 1983

Fukasawa, K. M., Fukasawa, K. and Harada, M. : Biosynthetic relationship between cytosol and membranous dipeptidyl peptidase IV from the rat submandibular gland. *Jap. J. Oral Biol.* **25** (4) : 1168—1173, 1983

Naraoka, T., Momoi, K., Fukasawa, K. and Goto, M. : Isolation and identification of a naturally occurring 7, 8—didemethyl—8 hydroxy—5—deazariboflavin derivative from *Mycobacterium avium*. *Biochim. Biophys. Acta* **797** : 377—380, 1984.

Harada, M., Fukasawa, K., Hiraoka, B. Y. and Fukasawa, K. M. : Similarity between alkaline phosphatases from bovine dental pulp and liver. *J. Dent. Res.* : 28—31, 1984.

口腔細菌学教室

Fujimura, S., Taniguchi, H., Kanagawa, N. and Nakamura, T. : Comparative studies of acid and alkaline phosphatases from *Bacteroides melaninogenicus*. *Matsumoto shigaku*, **9** (1) : 18—27, 1983.

中村 武 : 口腔細菌叢における拮抗現象—特にバクテリオシン活性について—, *日本歯科評論*, **491** : 212—223, 1983.

金川直博 : 歯垢細菌間の拮抗, 特に *Bacterionema matruchotii* のバクテリオシン様活性とその性状に関する研究. *歯科学報*, **83**(9) : 1219—1237, 1983.

Taniguchi, H., Fujimura, S., Takeuchi, K. and Nakamura, T. : Purification and characterization of Mucopolysaccharidase from an oral strain of *Bacteroides* sp. *Appl. Environ. Mi-*

crobial., **46** (6) : 1252—1257, 1983.

中村 武 : 抗菌物質産生の口腔細菌とその生態. *松本歯学*, **9**(2) : 135—150, 1983.

Takazoe, I., Nakamura, T. and Okuda, K. : Colonization of the subgingival area by *Bacteroides gingivalis*. *J. Dent Res.* **63** (3) : 422—426, 1984.

口腔病理学教室

枝 重夫, 川上敏行, 中村千仁, 河住 信, 長谷川博雅, 渡辺郁馬, 加藤倉三 : ヨードホルム加水酸化カルシウム系根管充填剤(材) 応用後の根端付近組織の治癒変化に関する臨床病理学的研究. *松本歯学*, **9** (1) : 28—37, 1983.

米山清志, 有賀 功, 矢ヶ崎 崇, 鹿毛俊孝, 河住 信, 長谷川博雅 : 孤立性骨嚢胞の1症例. *松本歯学*, **9** (1) : 74—78, 1984.

佐藤 透, 徳植 進, 河住 信 : 長期放置された妊娠性エプーリスの1例 付, 文献上の症例に対する組織学的検討. *松本歯学*, **9** (1) : 79—87, 1983.

枝 重夫 : 年齢増加による象牙質の超微構造の変化. *細胞*, **15**(10) : 369—374, 1983.

枝 重夫 : 歯髄反応としての象牙細管内桿状体. *日本歯内療法協会雑誌*, **4** (1) : 1—11, 1983.

河住 信, 金子 至, 長谷川博雅, 中村千仁, 川上敏行, 枝 重夫 : ラットにみられた自然発生乳腺原発腫瘍の病理組織学的ならびに電子顕微鏡的検索. *松本歯学*, **9** (2) : 190—195, 1983.

長谷川博雅, 河住 信, 中村千仁, 中島和敏, 井手口英章, 古沢清文 : Epulis Fibro-osteomatososa の1症例, 付 EPMA による分析結果. *松本歯学*, **9** (2) : 234—239, 1983.

歯科薬理学教室

前橋 浩, 山口由理子 : ヒ素の急性中毒における解毒剤の効果について. *松本歯学*, **9** (1) : 47—51, 1983.

北村 豊, 坂本 茂, 植田章夫, 鹿毛俊孝, 千野武広, 倉橋 寿 : 蛍光法による体液中セフトリジンの定量法の検討. *日本口腔科学雑誌*, **32**(3) : 483—489, 1983.

歯科理工学教室

高橋重雄：クラウンブリッジ用ニッケルクロム合金の使用にあたって。DE, 65:19-21, 1983.

高橋重雄, 伊藤充雄, 杉江玄嗣, 洞沢功子：高温鋳造用埋没材をテストする。DE, 67:18-33, 1983.

高橋重雄：ノンプレシヤスメタルと鋳造床。The Quintessence, 2(6):80-90, 1983

伊藤充雄：プラズマ溶射の歯科への応用。The Quintessence, 2(10):12-15, 1983

高橋重雄：市販鋳造用ニッケル・クロム合金の理工学的諸性質。歯科技工, 11(5):541-547

口腔衛生学教室

近藤 武, 笠原 香, 大島尚久, 中根 卓, 樋口壽英, 永沢 栄：模型歯における充填処置の標準化について(1)マイクロコンピュータによる窩洞外形の長さ及び面積の測定法とスケッチ窩洞での評価。松本歯学, 9(2):204-211, 1983.

近藤 武：適切な早期齲蝕診療とはなにか。再び総山教授に問う。歯界展望, 61(5)885-889, 1983.

笠原 香, 近藤 武：ポナールキットFを用いた尿中フッ素測定法について。口衛誌, 32(5)489-492, 1983.

近藤 武：職場における歯科保健。信州産衛誌, 2(1), 3-6 1983.

歯科補綴学教室第I

井手口英章, 林 清広, 清水文夫, 島田仁史, 平山政彦, 山岡 稔, 鷹股哲也, 戸荻惇毅, 小沢正道：口唇顎口蓋裂患者に施された骨移植の2例。松本歯学, 9(1):52-58, 1983

福与碩夫：形状記憶合金, その歯科への応用の可能性。クイントエッセンスデンタルテクノロジー, 9(3):3-7, 1983.

福与碩夫, 黒田典男：ブレードインプラントでの上部構造物の非解剖学的咬合面形態(その1)。クイントエッセンスデンタルテクノロジー, 9(3):37-43, 1983.

福与碩夫, 黒田典男, 島崎真一, 杉戸三十春, 横井一也：ブレードインプラントでの上部構造物の非解剖学的咬合面形態(その2)。クイントエッセンスデンタルテクノロジー, 9(4):81-88, 1983.

歯科補綴学教室第II

天野秀雄, 佐藤正文：固定性ブリッジにおける4 META 接着性レジンへの応用。松本歯学, 9(1):1-6, 1983.

口腔外科学教室第I

米山清志, 有賀 功, 矢ヶ崎崇, 鹿毛俊孝, 河住 信, 長谷川博雄：孤立性骨嚢胞の1症例。松本歯学, 9(1):74-78, 1983.

北村 豊, 坂本 茂, 植田章夫, 鹿毛俊孝, 千野武広, 倉橋 寿：蛍光法による体液中セファトリジンの定量法の検討。日口科誌32(3) 1983.

千野武広, 吉田潤一郎, 植田章夫, 北村 豊, 鹿毛俊孝, 副島敏彦, 天野秀雄：強度なるオトガイ唇溝陥凹の治療例。日口外誌29(2) 1983.

Chino, T., Sano, Y., Kage, T. and Ueda, A.: Experimental production of lingual tumor by jet injection of 9, 10-dimethyl 1, 2-benzanthracene. Matsumoto Shigaku, 9(2):174-182, 1983.

矢ヶ崎 崇, 千野武広：松本歯科大学病院におけるB型肝炎ウィルス感染に関する調査。松本歯学, 9(2):227-233, 1983.

口腔外科学教室第II

井手口英章, 林 清広, 清水文夫, 島田仁史, 平山政彦, 山岡 稔, 鷹股哲也, 戸荻惇毅, 小沢正道：口唇口蓋裂患者に施された骨移植の2例。松本歯学, 9(1):52-58, 1983.

小松正隆, 浦出雅裕：著明な角化傾向をもつ上顎扁平上皮癌由来株化細胞の樹立。日本口腔外科学会雑誌, 29(7):1243-1248, 1983.

Yamaoka, M., Matsuya, T., Miyazaki, T., Nishio, J. and Ibuki, K.: Visual training for velopharyngeal closure in cleft palate patients; a fibroscopic procedure. (Preliminary report) J. max.-fac. Surg., 4(1):191-193, 1983.

古沢清文, 氣賀昌彦, 佐々木 久, 平山政彦, 井手口英章, 中島和敏, 島田仁史, 林 清広, 山崎安一, 小松正隆, 山岡 稔, 待田順治：口腔領域における化膿性炎からの検出菌について。——最近1年間の検討——。松本歯学, 9:183-189, 1983.

長谷川博雅, 河住 信, 中村千仁, 中島和敏,

井手口英章, 古沢清文: Epulis Fibro-osteomatososa の 1 症例, 付 EDMA による分析結果. 松本歯学, 9 : 234-239, 1983.

待田順治, 井手口英章, 古沢清文, 中村なが子: 口腔外科学領域論文の情報科学的分析. (3) 臨床的研究に使用されている学術用語. 日本口腔外科学会雑誌, 30(3) : 300-304, 1984.

歯科矯正学教室

丹羽敏勝, 水本恭史, 吉川仁育, 小沢正道, 寺町好平, 松田泰明, 戸笈惇毅, 出口敏雄: Indiana Cephalometric Analysis の紹介. 松本歯学, 9 (1) : 59-64, 1983.

丹羽敏勝, 吉川仁育, 小沢正道, 寺町好平, 松田泰明, 戸笈惇毅, 出口敏雄: 顔面形態と下顎頭形態との関係にする X 線学的考察—成人の骨格性下顎前突および下顎前突および上顎前突について—. 顎変形誌, 2 : 52-55, 1983.

丹羽敏勝, 水本恭史, 小沢正道, 出口敏雄: 混合歯列期におけるアングル II 級 1 類不正咬合の 2 治験例. 近東矯歯誌, 18(1) : 63-75, 1983.

寺町好平, 出口敏雄: 日本人へのオクルゾグラムの応用—Maxillary ideal arch の設定法—. 日矯歯誌, 43 : 53-59, 1984.

吉川仁育, 寺町好平, 出口敏雄: 犬歯抜去を行った 3 症例. 近東矯歯誌, 18(1) : 83-96, 1983.

出口敏雄: 歯周疾患患者の矯正治療の米国での実情. Dental Diamond, 8(4) : 196-197, 1983.

総合診断・口腔外科教室

佐藤 透, 古賀 俊, 内田栄三郎, 徳植 進: 三叉神経痛様疼痛を主訴として来院した 4 症例. 松本歯学, 9 (1) : 65-73, 1983.

佐藤 透, 徳植 進, 河住 信: 長期間放置された妊娠エプーリスの 1 例 (附, 文献上の症例に対する組織的検討). 松本歯学, 9 (1) : 79-87, 1983.

徳植 進, 佐藤 透, 藤田 研, 賀数 恵, 荻原 健, 青木嘉之, 柳原健司, 川上清明, 伊藤良彦, 日野 理: 歯科臨床実習生における第 3 大臼歯の推移に就いて (第二報). 松本歯学, 9 (2) : 158-167, 1983.

歯科放射線学教室

枝 重夫, 川上敏行, 中村千仁, 河住 信, 長谷川博雅, 渡辺郁馬, 加藤倉三: ヨードホルム加水酸化カルシウム系根管充填剤(株)応用後の根端付近組織の治癒変化に関する臨床病理学的研究. 松本歯学, 9 (1) : 28-37, 1983.

小児歯科学教室

Imanishi, T : Pedodontics, Dentistry in Japan 1982-1983. Japanese Association for Dental Science, 131-138, December, 1983

太宰徳夫, 井戸菊夫, 小早川秀雄, 山内孝文, 今西孝博, 笠原 浩, 渡辺達夫, 榊原雅弘, 大村泰一, 副島之彦, 伊沢正彦: 開窓療法により嚢胞内永久歯を保存し得た小児の含歯性嚢胞の 7 例. 松本歯学, 9 (2) : 212-226, 1983.

障害者歯科学教室

太宰徳夫, 井戸菊夫, 小早川秀雄, 山内孝文, 今西孝博, 笠原 浩, 渡辺達夫, 榊原雅弘, 大村泰一, 副島之彦, 伊沢正彦: 開窓療法により嚢胞内永久歯を保存し得た小児の含歯性嚢胞の 7 例. 松本歯学, 9 (2) : 212-226, 1983.

笠原 浩: 「痛くない」小児歯科治療. 日本歯科医師会雑誌, 35(10) : 1095-1101, 1983.

笠原 浩: 障害者と Special Patient Care. 日本歯科医師会雑誌, 36(2) : 128-135, 1983.

笠原 浩: 行動管理のための薬物応用法. The Quintessence, 2 (7) : 82-88, 1983.

笠原 浩: 幼児に対する下顎孔伝麻の注意点. Dental Diamond, 8 (9) : 103-104, 1983.

笠原 浩: 健康な歯を望むもの—歯科医療の新たな地平線を招くために—. 歯界展望, 62(6) : 1197-1202, 1983.

笠原 浩: 小児と薬物療法. Dental Diamond, 8 (7) : 254-261, 1983.

渡辺達夫: 浸潤麻酔時における笑気吸入鎮静法の鎮静. The Quintessence, 2 (7) : 59-70, 1983.

福田 理, 葛島紀子, 高木伸子, 足立 守, 渡辺達夫, 西岡喜嗣, 黒須一夫: 心身障害児の取り扱いの難易とその診療内容. 小児歯科学雑誌, 21 (2) : 199-208, 1983.

陶材センター

坂口賢司, 谷内秀寿, 宮川 崇, 伊比 篤, 汲田 健, 橋口緯徳: 積分球診療室の光学的研究第5報 積分球内と技工室の照度および疲労度について, 日本歯科技工士学会誌, 4(1): 1-5, 1983.

橋口緯徳, 吉川満里子, 伊比 篤, 長野朱実, 山本真也, 横山幸代, 鈴木 稔: Caries Activity に関する研究(1)—地域における Snyder Test 及び Cariostat の統計的観察, 松本歯学, 9(2): 151-157, 1983.

吉川満里子, 長野朱実, 鈴木 稔, 横山幸代, 橋口緯徳: Caries Activity に関する研究(2)—地域における Cariostat と諸因子の関係について, 松本歯学, 9(2): 158-167, 1983.

橋口緯徳: 口腔内の色彩, スガ・テクニカルニュース, 90: 3-4, 1984.

橋口緯徳: 口腔内の色彩(続), スガ・テクニカルニュース, 91: 5, 1984.

衛生学院

坂口賢司, 谷内秀寿, 宮川 崇, 伊比 篤, 汲田 健, 橋口緯徳: 積分球診療室の光学的研究第5報 積分球内と技工室の照度および疲労度について, 日本歯科技工士学会誌, 4(1): 1-5, 1983.

小林美樹, 清水みや子, 丸山寛子, 宮川 崇, 谷内秀寿, 坂口賢司, 橋口緯徳: 歯科教育における技術適応能力診断の方法論的研究 第8報 CPI と YG 性格検査の年度的推移(1), 松本歯学, 9(1): 38-46, 1983.

谷内秀寿, 宮川 崇, 坂口賢司, 橋口緯徳: 歯科教育における技術適応能力診断の方法論的研究 第7報 技術能力と一般適性検査の比較, 日本歯科技工士学会誌, 5(1): 113-118, 1984.

学 会 発 表

口腔解剖学教室第 I

日本口腔科学会総会(第37回)昭和58年4月 歯頸部ほうろう突起と下顎骨歯槽部の吸収について: 恩田千爾, 峯村隆一(口科誌, 32(4): 914, 1983)

日本解剖学会総会(第88回)昭和58年4月

大臼歯の歯頸部ほうろう(エナメル)突起について: 恩田千爾, 峯村隆一, 正木岳馬(解剖誌, 58(4): 439, 1983)

松本歯科大学学会例会(第16回)昭和58年6月 上顎大臼歯の歯頸部ほうろう(エナメル)突起と歯槽突起の吸収: 恩田千爾, 峯村隆一, 都筑文男(松本歯学, 9(1): 101, 1983)

日本解剖学会中部地方会(第43回)昭和58年9月

3根を有する下顎大臼歯: 恩田千爾, 峯村隆一 日本人類学会, 日本民族学会連合大会(第37回)昭和58年9月

大臼歯の原始的形質と進化: 恩田千爾

歯科基礎医学会総会(第25回)昭和58年10月 上顎大臼歯の歯頸部ほうろう(エナメル)突起と歯槽突起の吸収との関係: 恩田千爾, 峯村隆一, 都筑文男(歯基礎誌, 25(抄録集): 268, 1983)

松本歯科大学学会総会(第17回)昭和58年11月 下顎大臼歯の歯根数について: 恩田千爾, 峯村隆一, 都筑文男(松本歯学9(2): 255-256, 1983)

口腔解剖学教室第 II

日本解剖学会総会(第88回)昭和58年4月 ラット顎下腺細胞の生後発育分化: 佐原紀行, 鈴木和夫(解剖誌, 58: 315, 1983)

日本解剖学会総会(第88回)昭和58年4月 Tfm/Y マウス顎下腺への甲状腺ホルモンの作用: 松浦幸子, 佐原紀行, 鈴木和夫(解剖誌, 58: 315, 1983)

日本解剖学会総会(第88回)昭和58年4月 日本産ヘビ類(*Laticauda semifasciata*, *Elaphe quadrivirgata*)の鰓後腺の微細構造: 吉沢英樹, 鈴木和夫(解剖誌, 58: 358, 1983)

日本比較内分泌学会大会(第8回)昭和58年5月 発生に伴うアオダイショウ(*Elaphe climacophora*)の鰓後腺の微細構造の変化: 吉沢英樹, 鈴木和夫, 吉原正義, 笹山雄一, 小黒千足

歯科基礎医学会総会(第25回)昭和58年9月 唾液腺腺房細胞の開口分泌ともなる細胞膜の動態: 佐原紀行, 鈴木和夫(歯基礎誌, 25(抄録集): 58, 1983)

VIII International Conference on Calcium Regulating Hormones, October, 1983. Ultras-

structure of snake ultimobranchial glands : Suzuki, K. and Yoshizawa, H. (Program and Abstracts of Workshop, 69, 1983)

VIII International Conference on Calcium Regulating Hormones, October, 1983. Electron-microscopy of the parathyroid gland of the sea-snake, *Laticauda semifasciata* : Yoshizawa, H. and Suzuki, K. (Program and Abstracts of Workshop, 72, 1983)

VIII International Conference on Calcium Regulating Hormones, October, 1983. Morphological changes in the ultimobranchial gland of the skink, *Tokydomus tachydromoides*, in circahatch period : Yoshihara, M., Uchiyama, M., Yoshizawa, H., Oguro, C. (Program and Abstracts of Workshop, 74, 1983.)

VIII International Conference on Calcium Regulating Hormones, October, 1983. The function of the ultimobranchial gland in snakes during Ca loading : Uchiyama, M., Yoshihara, M., Murakami, T. Yoshizawa, H. and Oguro, C. (Program and Abstracts of Workshop, 73, 1983.)

日本組織細胞化学会総会 (第24回) 昭和58年10月

Isoproterenol 投与後のラット唾液腺 DPP IV の局在 : 佐原紀行, 鈴木和夫 (Acta Histochem. Cytochem, 16 : 652, 1983)

日本歯科医学会総会 (第15回) 昭和58年11月
FDI 年次世界歯学大会 (第71回) 昭和58年11月
形状記憶効果をもつ骨内インプラントの生体組織反応について : 吉沢英樹, 鈴木和夫, 福与碩夫, 西連寺永康 (歯界展望, 63 : 1127, 1984)

松本歯科大学学会総会 (第17回) 昭和58年11月
耳下腺腺房細胞の開口分泌にもなる形質膜の変化—免疫電顕組織化学的研究 : 佐原紀行, 鈴木和夫

口腔生理学教室

日本生理学会大会 (第60回) 昭和58年4月
カエル口腔粘膜水刺激による閉口反射 : 野村浩道・熊井敏文 (日本生理誌, 45 (8, 9) : 501, 1983)

日本生理学会大会 (第60回) 昭和58年4月
ハムスター顎下神経節細胞に発現する緩徐律動性

膜電位変化 : 鈴木 隆 (日本生理誌, 45 (8, 9) : 406, 1983)

日本生理学会大会 (第60回) 昭和58年4月
ハムスター顎下神経節細胞にみられる律動性過分極電位の発現機序 : 鈴木 隆 (日本生理誌, 45 (8, 9) : 527, 1983)

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年6月
AMP-PNP を分解する酵素について : 浅沼直和, 野村浩道 (松本歯学, 9 (1) : 103, 1983)

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年6月
顎下神経節細胞の律動性過分極電位に対する cyclic nucleotides の効果 : 鈴木 隆 (松本歯学, 9 (1) : 104, 1983)

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年6月
ミニコンピューターを用いた周波数分析 : 熊井敏文, 野村浩道, 北村 豊, 中嶋 哲, 千野武広 (松本歯学, 9 (1) : 105, 1983)

歯科基礎医学会総会 (第25回) 昭和58年9月
顎下神経節細胞の律動性過分極電位に対する cyclic nucleotides の効果 : 鈴木 隆 (歯基礎誌, 25 : 抄録集36, 1983)

歯科基礎医学会総会 (第25回) 昭和58年9月
カエル口腔粘膜水刺激による閉口反射 : 野村浩道・熊井敏文 (歯基礎誌, 25 : 抄録集196, 1983)

29th International Congress of Physiological Science (昭和58年9月) 1983, Sydney.

Slow rhythmic membrane potential changes in hamster submandibular ganglion cells : T. Suzuki (Abstracts 15 : 356)

8th International Symposium on Olfaction and Taste (昭和58年8月) 1983, Melbourne.

Jaw closing reflexes in the frog : H. Nomura, T. Kumai (Abstracts 17 : 51)

松本歯科大学学会総会 (第17回) 昭和58年11月
カエルの2種類の閉口反射の特性 : 野村浩道, 鈴木宏和 (松本歯学, 9 (2) : 252, 1983)

松本歯科大学学会総会 (第17回) 昭和58年11月
ウサギ葉状乳頭の ATPase 活性とアクチン—ミオシン系 ATPase との関連について : 平川良勝, 野村浩道, (松本歯学, 9 (2) : 252, 1983)

日本動物生理学会 (第5回) 昭和58年11月
On the role of water receptor in the frog : Nomura, H. and Kumai, T. (第5回大会発表論文抄録, 18, 1983)

日本生理学会大会 (第61回) 昭和59年3月
顎下神経節細胞の律動性過分極電位と cyclic nucleotides の効果: 鈴木 隆 (日本生理学会大会予稿集 109)

日本生理学会大会 (第61回) 昭和59年3月
カエル口腔粘膜刺激による脳幹ニューロン活動: 野村浩道, 鈴木宏和 (日本生理学会大会予稿集 183)

口腔生化学教室

歯科基礎医学会総会 (第25回) 昭和58年9月
唾液による *Streptococcus mitis* アルギニンアミノペプチダーゼの活性調節: 平岡行博, 深沢勝彦, 原田 実 (歯基礎誌, 25: 抄録集128, 1983)

日本口腔外科学会 (第28回) 昭和58年9月
口腔扁平上皮癌におけるジペプチジルペプチダーゼIVの酵素偏倚について: 小松正隆, 深沢勝彦, 浦出雅裕 (日口外誌, 29(13): 2551, 1983)

日本生化学会大会 (第56回) 昭和58年9月
Streptococcus mitis アルギニンアミノペプチダーゼの金属イオンによる活性調節: 平岡行博, 深沢勝彦, 原田 実 (生化学55(8): 729, 1983)

日本生化学会大会 (第56回) 昭和58年10月
ジペプチジル ペプチダーゼIVの光酸化失活: 原田 実, 平岡行博, 深沢加与子, 深沢勝彦 (生化学55(8): 1025, 1983)

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年6月
ウシ歯髄, 肝臓, 小腸間におけるアルカリホスファターゼの抗原性の比較: 原田 実, 深沢勝彦, 平岡行博, 深沢加与子 (松本歯学, 9(1): 103, 1983)

松本歯科大学学会総会 (第17回) 昭和58年11月
N-プロモサクシンイミドによるジペプチジルペプチダーゼIVの化学修飾: 原田 実, 平岡行博, 深沢勝彦, 深沢加与子 (松本歯学, 9(2): 251, 1983)

口腔細菌学教室

日本細菌学会総会 (第56回) 昭和58年4月
口腔細菌叢における拮抗現象—特にバクテリオシン活性について—: 中村 武 (日細誌, 38(1): 137—138, 1983)

日本細菌学会総会 (第56回) 昭和58年4月
Bacterionema matruchotii の産生する抗菌物質の精製とその性状: 谷口裕朗, 藤村節夫, 中村 武 (日細誌, 38(1): 221, 1983)

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年6月
Bacteroides melaninogenicus の溶血因子について: 谷口裕朗, 谷口淳子, 藤村節夫, 中村 武 (松本歯学, 9(1): 101—102, 1983)

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年6月
Propionibacterium acnes のホスフォリパーゼCについて: 藤村節夫, 谷口裕朗, 中村 武 (松本歯学, 9(1): 102—103, 1983)

International Conference on Oral Biology (9th)

Colonization of subgingival area by *Bacteroides gingivalis*: Takazoe, I., Nakamura, T. and Okuda, K. (Sydney, July 1983)

歯科基礎医学会総会 (第25回) 昭和58年10月
Propionibacterium acnes のホスフォリパーゼCの精製と性状: 藤村節夫, 谷口裕朗, 藤浪 明, 中村武 (歯基礎誌, 25: 83, 1983)

歯科基礎医学会総会 (第25回) 昭和58年10月
Bacteroides melaninogenicus の溶血活性について: 谷口裕朗, 谷口淳子, 藤村節夫, 中村 武 (歯基礎誌, 25: 245, 1983)

松本歯科大学学会総会 (第17回) 昭和58年11月
抗菌物質産生の口腔細菌とその生態: 中村 武 (松本歯学, 9(2): 243, 1983)

口腔病理学教室

東京歯科大学学会例会 (第218回) 昭和58年3月
高齢者の根管治療後の根端附近の治療変化に関する臨床病理組織学的研究 (第2報): 渡辺郁馬, 菊間洋子, 高橋 真, 佐藤藤志, 枝 重夫 (歯科学報, 83(4): 437—438, 1983)

日本口腔科学会総会 (第37回) 昭和58年4月
悪性像を伴って初発したエナメル上皮腫の1症例: 島田仁史, 伊地知 明, 小松正隆, 山岡 稔, 河住 信, 長谷川博雄 (口科誌, 32(4): 782—783, 1983)

日本口腔科学会総会 (第37回) 昭和58年4月
石灰化 of 著明な結核性顎下リンパ節炎の1症例: 中島和敏, 林 清広, 小松正隆, 山岡 稔, 中村千仁, 川上敏行 (口科誌, 32(4): 838—839, 1983)

日本口腔科学会総会 (第37回) 昭和58年4月
舌下部に石灰化 of 著明であった Calcinosis universalis の1例: 峯村俊一, 山崎 正, 桜井精人, 中嶋みどり, 田中 寿, 武田 進, 小谷 朗,

市川和夫, 高須信行, 川上敏行, 枝重夫 (口科誌, 32(4): 841-842, 1983)

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年6月
ラットにみられた自然発生乳腺原発腫瘍の1例,
第2報: 河住信, 金子至, 長谷川博雅, 中村千仁,
川上敏行, 枝重夫 (松本歯学, 9(1): 108-109, 1983)

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年6月
ヨードホルム・水酸化カルシウムパスタ (糊剤根管充填材ビタベックス) の組織埋入に関する実験的研究 (第9報) ¹⁴C-ジメチルポリシロキサン の生体内分布と糞尿中排泄について: 川上敏行, 中村千仁, 河住信, 長谷川博雅, 枝重夫 (松本歯学, 9(1): 109, 1983)

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年6月
ヨードホルム・水酸化カルシウムパスタ (糊剤根管充填材ビタベックス) の組織埋入に関する実験的研究 (第10報) 下顎管内挿入についての続報: 中村千仁, 河住信, 長谷川博雅, 川上敏行, 枝重夫 (松本歯学, 9(1): 110, 1983)

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年6月
Epulis Fibro-osteomatos の1症例: 長谷川博雅, 河住信, 中村千仁, 中島和敏, 井手口英章, 古沢清文 (松本歯学, 9(1): 112-113, 1983)

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年6月
長期放置された妊娠エプーリスの1例, 付. 文献上の症例に対する組織学的検討: 佐藤透, 徳植進, 河住信 (松本歯学, 9(1): 113, 1983)

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年6月
上顎に発生した悪性エナメル上皮腫の1例: 吉田潤一郎, 山田哲男, 鹿毛俊孝, 千野武広, 中村千仁, 河住信, 長谷川博雅 (松本歯学, 9(1): 114, 1983)

日本頭頸部腫瘍学会 (第7回) 昭和58年6月
舌下腺に発生した Monomorphic adenoma の1例: 矢島幹人, 田村稔, 峯村俊一, 山崎正, 武田進, 小谷朗, 川上敏行, 枝重夫 (頭頸部腫瘍, 10: 148, 1984)

日本口腔外科学会総会 (第28回) 昭和58年9月
上顎に発生した悪性エナメル上皮腫の1例: 吉田潤一郎, 山田哲男, 鹿毛俊孝, 千野武広, 中村千仁, 河住信, 長谷川博雅 (日口外誌, 29(13): 2537-2538, 1983)

日本口腔外科学会総会 (第28回) 昭和58年9月

下顎に発生したセメント質・骨形成線維腫の1症例: 河住信, 長谷川博雅, 山本一郎, 平山政彦 (日口外誌, 29(13): 2538-2539, 1983)

歯科基礎医学会総会 (第25回) 昭和58年10月
病的石灰化組織に関する病理的研究 第1報 Calcinosis Universalis について: 川上敏行, 中村千仁, 河住信, 長谷川博雅, 枝重夫, 赤羽章司, 山崎正, 高須信行 (歯基礎誌, 25(抄録集): 170, 1983)

歯科基礎医学会総会 (第25回) 昭和58年10月
病的石灰化組織に関する病理学的研究 第2報 Basal Cell Adenoma にみられた石灰化物について: 中村千仁, 金子至, 長谷川博雅, 河住信, 川上敏行, 枝重夫, 赤羽章司, 山崎正 (歯基礎誌, 25(抄録集): 289, 1983)

日本口腔外科学会中部地方会 (第8回) 昭和58年11月

Mucoepidermoid Carcinoma の微細構造 (第1報): 川上敏行, 中村千仁, 河住信, 長谷川博雅, 枝重夫, 小松正隆, 古沢清文, 井手口英章 (日口外誌, 30(5): 736-737, 1984)

日本口腔外科学会中部地方会 (第8回) 昭和58年11月

粘表皮癌の2症例: 古沢清文, 小松正隆, 島田仁史, 待田順治, 中村千仁, 川上敏行 (日口外誌, 30(5): 738, 1984)

日本口腔外科会中部地方会 (第8回) 昭和58年11月

下顎中心性神経鞘腫の1例: 北村豊, 望月雅樹, 鹿毛俊孝, 千野武広, 長谷川博雅, 河住信 (日口外誌, 30(5): 739-740, 1984)

松本歯科大学学会総会 (第17回) 昭和58年11月
ヨードホルム・水酸化カルシウムパスタ (糊剤根管充填材ビタベックス) の組織埋入に関する実験的研究 (第11報) 下顎管内挿入部の微細構造: 中村千仁, 河住信, 長谷川博雅, 川上敏行, 枝重夫 (松本歯学, 9(2): 244, 1983)

松本歯科大学学会総会 (第17回) 昭和58年11月
病的石灰化組織に関する病理学的研究 第3報 Cemento-ossifying Fibroma について: 河住信, 長谷川博雅, 中村千仁, 川上敏行, 枝重夫, 山本一郎, 平山政彦, 赤羽章司 (松本歯学, 9(2): 244-245, 1983)

松本歯科大学学会総会 (第17回) 昭和58年11月

食品の中から現われた歯牙片の鑑定例：金子至，長谷川博雅，河住 信，中村千仁，川上敏行，枝 重夫，赤羽章司，山本勝一，大谷 進（松本歯学，9(2)：245-246，1983）

松本歯科大学学会総会（第17回）昭和58年11月 Mucoepidermoid Carcinoma の微細構造（第2報）：川上敏行，中村千仁，河住 信，長谷川博雅，枝 重夫，小松正隆，古沢清文，井手口英章，赤羽章司（松本歯学，9(2)：257，1983）

松本歯科大学学会総会（第17回）昭和58年11月 Mucoepidermoid Carcinoma の微細構造（第3報）：川上敏行，中村千仁，河住 信，長谷川博雅，枝 重夫，小松正隆，古沢清文，井手口英章（松本歯学，9(2)：257-258，1983）

松本歯科大学学会総会（第17回）昭和58年11月 Epulis Fibro-osteomatososa の1例にみられた immature bone の EPMA 分析について：長谷川博雅，河住 信，中村千仁，中島和敏，井手口英章，古沢清文，赤羽章司（松本歯学，9(2)：258-259，1983）

歯科薬理学教室

松本歯科大学学会例会（第16回）昭和58年6月 ヒ素の急性中毒における 2, 3-dimercapto-1-propanesulfonic acid および 2, 3-dimercaptosuccinic acid の解毒効果について：山口由理子，前橋 浩（松本歯学9(1)：106-107，1983）

The Third International Congress on Toxicology 昭和58年9月 Arsenic and copper excretion after treatment of arsenic poisoning in rats with heavymetal antagonists : Maehashi, H., Yamaguchi, Y. and Tsutsumi, S. (Toxicology Letters 18 (Suppl. 1) : 116)

歯科基礎医学会総会（第25回）昭和58年10月 フッ化物の骨格筋収縮に対する作用：服部敏己（歯基礎誌，25（抄録集）：137，1983）

歯科基礎医学会総会（第25回）昭和58年10月 ヒ素の排泄に対する解毒剤の効果：山口由理子，前橋 浩（歯基礎誌，25（抄録集）：138，1983）

松本歯科大学学会総会（第17回）昭和58年11月 骨格筋収縮増強作用について：服部敏己（松本歯学，9(2)：253，1983）

日本薬理学会総会（第57回）昭和59年3月

ヒ素の排泄に対する DMSA および DMPS の効果：山口由理子，前橋 浩（第57回日本薬理学会総会要旨集，304，1984）

歯科理工学教室

日本歯科理工学会学術講演会（第2回）昭和58年4月

リン酸塩系埋没材について（その4）—作業室内温度と硬化時膨張との関係について—：伊藤充雄（第2回歯科理工学会抄録集，P. 35）

日本歯科理工学会北海道・東北，関東，中部3支部共催学術講演会 昭和58年10月

鋳造用 base metal 合金に関する研究—繰り返し鋳造の影響について—：杉江玄剛，舟津 聡，伊藤充雄，高橋重雄（歯科理工学会抄録集，P. 74）

日本歯科インプラント学会総会 昭和58年11月 Hydroxyapatite・Al₂O₃溶射 Blade implant の理工学的・組織学的観察と臨床応用について：伊藤充雄，高橋重雄（日本歯科インプラント学会抄録集，P. 3）

口腔衛生学教室

日本公衆衛生学総会（第42回）昭和58年11月 1才6ヶ月児健診後の定期歯科保健指導について：近藤 武，笠原 香（日本公衆衛生会誌，30：170，1983）

日本口腔衛生学会総会（第32回）昭和58年10月 ジルコニウムとキシレノールオレンジを用いるフッ素微量定量法の追試と検討：笠原 香，近藤武（口腔衛生会誌，33：98，1983）

日本口腔衛生学会総会（第32回）昭和58年10月 加齢によるマウス骨，歯牙中のフッ素量の変化：近藤 武，樋口壽英，中根 卓，塩原正子（口腔衛生会誌，33：90，1983）

日本学校保健学会（第30回）昭和58年11月 児童における第1大臼歯の萌出とむし歯罹患の関係：近藤 武（学校保健会誌，25：120，1983）

歯科保存学教室第II

松本歯科大学学会総会（第17回）昭和58年11月 根管の拡大・形成について——彎曲根管に対する各種リーマー又はファイルの拡大・形成効果の比較—：三浦康司，山本昭夫，笠原悦男，安田英一（松本歯学，9(2)：248，1983）

歯科補綴学教室第 I

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年 6月
外胚葉異形成症の患者に上下顎総義歯を装着した
1症例について: 橋本京一, 倉沢郁文, 南條博彦
(松本歯学, 9(1): 115, 1983)

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年 6月
形状記憶合金の骨内インプラトンへの利用: 吉沢
英樹, 鈴木和夫, 福与碩夫(松本歯学, 9(1): 107,
1983)

第32回米国歯科インプラト学会年次総会昭和58
年 9月

形状記憶効果を有する骨内インプラトン (テーブ
ルクリニック): 福与碩夫

日本デンタルインプラント研究学会総会 (第13
回) 昭和58年10月

形状記憶効果をもつ骨内インプラントの開発: 福
与碩夫, 鈴木雄一, 高橋 充

日本デンタルインプラント研究学会総会 (第13
回) 昭和58年10月

形状記憶効果をもつ骨内インプラントの生体組織
学的反応について: 吉沢英樹, 鈴木和夫, 福与碩
夫, 西連寺永康

日本デンタルインプラント研究学会総会 (第13
回) 昭和58年10月

形状記憶効果をもつ骨内インプラントの臨床応用
について: 石田幸男, 山本 稔, 阪本義樹, 三宅
康史, 神野明彦, 福与碩夫.

口腔外科学教室第 I

日本口腔科学会総会 (第37回) 昭和58年 4月
ハムスター頬嚢の実験的腫瘍形成における走査お
よび透過電顕的観察(その2): 鹿毛俊孝, 植田章
夫, 矢ヶ崎 崇, 望月雅樹, 千野武広(日口科誌,
32(4): 742, 1983)

松本歯科大学学会総会 (第16回) 昭和58年 6月
上顎に発生した悪性エナメル上皮腫の1例: 吉田
潤一郎, 山田哲男, 鹿毛俊孝, 千野武広, 中村千
仁, 河住 信, 長谷川博雅(松本歯学, 9(1): 4,
1983)

松本歯科大学学会総会 (第16回) 昭和58年 6月
松本歯科大学病院におけるB型肝炎ウイルス感染
に関する調査: 矢ヶ崎 崇, 千野武広(松本歯学,
9(1): 116, 1983)

日本口腔外科学会総会 (第28回) 昭和58年 9月

上顎に発生した悪性エナメル上皮腫の1例: 吉田
潤一郎, 山田哲男, 鹿毛俊孝, 千野武広, 中村千
仁, 河住 信, 長谷川博雅(日口外誌, 29(13):
2537-2538, 1983)

日本口腔外科学会中部地方会 (第8回) 昭和58
年11月

下顎骨中心性神経鞘腫の1例: 北村 豊, 望月雅
樹, 鹿毛俊孝, 千野武広, 長谷川博雅, 河住 信
(日口外誌, 30(5): 739-740, 1984)

松本歯科大学学会総会 (第17回) 昭和58年11月
耳下腺異物の1例: 馬田研一, 中嶋 哲, 植田章
夫, 鹿毛俊孝(松本歯学, 9(2): 249, 1983)

口腔外科学教室第 II

日本口腔科学会総会 (第37回) 昭和58年 4月
悪性像を伴って初発したエナメル上皮腫の1症
例: 島田仁史, 伊地知 明, 小松正隆, 山岡 稔,
河住 信, 長谷川博雅(口科誌, 32(4): 782, 1983)

日本口腔科学会総会 (第37回) 昭和58年 4月
石灰化 of 著明な結核性顎下リンパ節炎の1症例:
中島和敏, 林 清広, 小松正隆, 山岡 稔, 中村
千仁, 川上敏行(口科誌, 32(4): 838, 1983)

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年 6月
島状口蓋粘膜弁による口腔上顎洞瘻孔閉鎖の1方
法一露出した口蓋骨面の弁上皮による一次的な被
覆一: 平山政彦, 山崎安一, 中島和敏, 島田仁史
(松本歯学, 9(1): 115-116, 1983)

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年 6月
Epulis Fibrosteomatosa の1症例: 長谷川博
雅, 河住 信, 中村千仁, 中島和敏, 井手口英章,
古沢清文(松本歯学, 9(1): 112-113, 1983)

日本口蓋裂学会総会 (第7回) 昭和58年 7月
下口唇正中裂, 下顎正中裂を伴った第1第2鰓弓
症候群と考えられる1症例: 島田仁史, 伊地知
明, 待田順治, 広瀬 毅(日口蓋誌, 8(2):
293-294, 1983)

日本口腔外科学会総会 (第28回) 昭和58年 9月
口腔外科領域論文の情報科学的分析

(3) 臨床的研究に使用されている学術用語: 井手
口英章, 古沢清文, 待田順治(日口外誌, 29(13):
2453, 1983)

日本口腔外科学会総会 (第28回) 昭和58年 9月
口腔扁平上皮癌におけるジベプチジルベプチター
ゼIVの酵素偏倚について: 小松正隆, 深沢勝彦,

浦出雅裕 (日口外誌, 29(13): 2551, 1983)

日本口腔外科学会総会 (第28回) 昭和58年9月
下顎に発生したセメント質・骨形成線維腫の1症
例: 河住 信, 長谷川博雅, 平山政彦, 山本一郎
(日口外誌, 29(13): 2538, 1983)

日本口腔外科学会中部地方会 (第8回) 昭和58
年11月

粘表皮癌の2症例: 古沢清文, 小松正隆, 島田仁
史, 待田順治, 中村千仁, 川上敏行 (日口外誌,
30(5): 738, 1984)

日本口腔外科学会中部地方会 (第8回) 昭和58
年11月

Mucoepidermoid Carcinoma の微細構造 (第1
報): 川上敏行, 中村千仁, 河住 信, 長谷川博雅,
枝 重夫, 小松正隆, 古沢清文, 井手口英章 (日
口外誌, 30(5): 736, 1984)

松本歯科大学学会総会 (第17回) 昭和58年11月
病的石灰化組織に関する病理学的研究 第3報
Cemento-ossifying Fibroma について: 河住
信, 長谷川博雅, 中村千仁, 川上敏行, 枝 重夫,
山本一郎, 平山政彦, 赤羽章司 (松本歯学, 9(2):
244, 1983)

松本歯科大学学会総会 (第17回) 昭和58年11月
口腔領域における化膿性炎からの検出菌について
—最近1年間の検討—: 古沢清文, 氣賀昌彦, 佐々
木 久, 平山政彦, 井手口英章, 中島和敏, 島田
仁史, 林 清広, 小松正隆, 山岡 稔, 待田順治,
山崎安一 (松本歯学, 9(2): 250, 1983)

松本歯科大学学会総会 (第17回) 昭和58年11月
Mucoepidermoid Carcinoma の微細構造 (第2
報): 川上敏行, 中村千仁, 河住 信, 長谷川博雅,
枝 重夫, 小松正隆, 古沢清文, 井手口英章 (松
本歯学, 9(2): 257, 1983)

松本歯科大学学会総会 (第17回) 昭和58年11月
Mucoepidermoid Carcinoma の微細構造 (第3
報): 川上敏行, 中村千仁, 河住 信, 長谷川博雅,
枝 重夫, 小松正隆, 古沢清文, 井手口英章 (松
本歯学, 9(2): 257—258, 1983)

松本歯科大学学会総会 (第17回) 昭和58年11月
Epulis Fibroosteomatososa の1例に見られた im-
mature bone の EPMA 分析について: 長谷川博
雅, 河住 信, 中村千仁, 中島和敏, 井手口英章,
古沢清文, 赤羽章司 (松本歯学, 9(2): 258—259,
1983)

総合診断・口腔外科教室

松本歯科大学学会例会 (第16回) 昭和58年6月
胆, 肝異常に伴う赤血球膜抵抗性変化と歯周所見
との関連に就いて(第一報): 佐藤 透 (松本歯学,
9(1): 116, 1983)

日本口腔科学会北日本地方部会 (第21回) 昭和
58年7月

胆, 肝異常に伴う赤血球膜抵抗性変化と歯周所見
との関連に就いて(第二報): 佐藤 透 (日口科誌,
33(1): 161, 1983)

日本口腔科学会北日本地方部会 (第21回) 昭和
58年7月

歯科臨床実習学生における第三大臼歯の推移につ
いて (第二報): 藤田 研, 徳植 進, 佐藤 透,
賀数 恵, 萩原 健, 青木嘉之, 柳原健司, 川上
清明, 伊藤良彦, 日野 理 (松本歯学, 9(2): 158,
1983)

日本口腔科学会中部地方部会 (第26回) 昭和58
年11月

下顎骨偏側離断術後における修復一症例 (スウィ
ングロックアタッチメント使用): 賀数 恵, 萩原
健, 伊藤良彦, 川上清明, 柳原健司, 青木嘉之,
藤田研, 佐藤 透

日本口腔科学会中部地方部会 (第26回) 昭和58
年11月

長期治療を要した右側上顎洞炎の再発例: 藤田
研, 中道賢一, 佐藤 透, 徳植 進

松本歯科大学学会総会 (第17回) 昭和58年11月
下顎骨部分切除患者への修復検例: 柳原健司,
伊藤良彦, 賀数 恵, 藤田 研, 佐藤 透, 徳植
進 (松本歯学, 9(2): 249, 1983)

歯科矯正学教室

近畿東海矯正歯科学会学術大会 (第25回) 昭和
58年6月

犬歯抜去を行った症例—判定基準の考察—: 吉川
仁育, 水本恭史, 山崎 健, 中根 治, 戸町惇毅,
出口敏雄 (近東矯歯誌, 18(1): 153, 1983)

日本口蓋裂学会総会 (第7回) 昭和58年7月
片側性唇顎口蓋裂成人患者の4治験例: 丹羽敬
勝, 出口敏雄 (日口蓋誌, 8(2): 261, 1983)

日本矯正歯科学会学術大会 (第42回) 昭和58年
9月

Corticotomy と Protraction chin cap 併用による

上顎骨前方牽引に関する実験的研究(その2): 松田泰明

日本矯正歯科学会学術大会(第42回)昭和58年9月

歯の圧下, トルク時の歯および周囲組織の変化に関する臨床的, 実験的研究—その1, 永久前歯歯根完成期について—: 戸苺惇毅, 出口敏雄, 山内和夫*(日矯歯誌, 42(4): 505, 1983)*広島大学歯学部矯正学教室

日本矯正歯科学会学術大会(第42回)昭和58年9月

日本人(9才~15才)における developmental age 決定のための5要素: 水本恭史, 吉川仁育, 小沢正道, 寺町好平, 松田泰明, 丹羽敏勝, 戸苺惇毅, 出口敏雄(日矯歯誌, 42(4): 518, 1983)

松本歯科大学学会総会(第17回)昭和58年11月3姉弟にみられた顎変形症: 高木伸治, 西本雅弘, 吉田行秀, 吉川仁育, 出口敏雄(松本歯学, 9(2): 250—251, 1983)

近畿東海矯正歯科学会例会(第7回)昭和58年12月

外科矯正を行った顎顔面非対称症の3治験例: 駿河充城, 寺町好平, 松田泰明, 出口敏雄

顎変形症研究会(第3回)昭和59年3月
非対称性下顎前突症の3治験例: 寺町好平, 吉田行秀, 松田泰明, 出口敏雄

歯科放射線学教室

松本歯科大学学会例会(第16回)昭和58年6月
口内法高感度フィルムによるフィルムパッジの線量評価: 筒井 稔, 横山博俊, 加藤倉三(松本歯学, 9(1): 111)

松本歯科大学学会例会(第16回)昭和58年6月
鉛入りアクリル樹脂「キョウワグラス-XA」によるX線写真用濃度補償フィルターの試用経験: 長内 剛, 加藤倉三, 児玉健三, 柴田常克(松本歯学, 9(1): 111—112)

小児歯科学教室

日本小児歯科学会(第21回)昭和58年5月

ホルモ・クレゾール及びホルモ・グアヤコール応用による乳歯歯髓切断法の実験的研究: 小早川秀雄, 井戸菊夫, 山内孝文, 旭爪伸二, 伊勢村俊秀, 唐沢茂光, 今西孝博.(小児歯科学雑誌 21(3):

581)

日本小児歯科学会中部地方会(第2回)昭和58年12月

開窓療法により嚢胞内永久歯を保存し得た小児の含歯性嚢胞の7例: 太宰徳夫, 井戸菊夫, 小早川秀雄, 山内孝文, 今西孝博, 笠原 浩, 渡辺達夫, 榊原雅弘, 大村泰一, 副島之彦, 伊沢正彦

障害者歯科学教室

日本小児歯科学会総会(第21回)昭和58年5月
小児歯科におけるペイン・コントロールの実態: 伊沢正彦, 気賀康彦, 中島秀明, 山本卓二, 笠原浩, 井戸菊夫, 小早川秀雄, 太宰徳夫, 今西孝博(小児歯誌, 21: 614)

日本障害者歯科学会総会(第11回)昭和58年9月

長野県内施設のアンケート調査結果: 神津文雄, 伊沢正彦, 古暮好昭, 渡辺達夫, 笠原 浩(障害者歯科, 5: 印刷中)

日本障害者歯科学会総会(第11回)昭和58年9月

ブラダーウィリー症候群の一例: 気賀康彦, 石川恭代, 川村克己, 渡辺達夫, 笠原 浩(障害者歯科, 5: 印刷中)

日本障害者歯科学会総会(第11回)昭和58年9月

三尖弁閉鎖症の麻酔経験: 副島之彦, 福沢雄司, 樋口哲也, 渡辺達夫, 笠原 浩(障害者歯科, 5: 印刷中)

日本障害者歯科学会総会(第11回)昭和58年9月

障害者施設における巡回歯科診療: 中島秀明, 小笠原 正, 平井 健, 副島之彦, 渡辺達夫, 笠原浩(障害者歯科, 5: 印刷中)

日本障害者歯科学会総会(第11回)昭和58年9月

全麻下集中歯科治療: 山本卓二, 榊田伸二, 副島之彦, 山内孝文, 井戸菊夫, 小早川秀雄, 渡辺達夫, 笠原 浩(障害者歯科, 5: 印刷中)

松本歯科大学学会例会(第16回)昭和58年6月
小児歯科におけるペイン・コントロールの実態: 伊沢正彦, 気賀康彦, 中島秀明, 山本卓二, 笠原浩, 井戸菊夫, 小早川秀雄, 太宰徳夫, 今西孝博(松本歯学, 9: 117—118)

松本歯科大学学会例会(第16回)昭和58年6月小児における笑気吸入鎮静法の鎮静効果:渡辺達夫,伊沢正彦,気賀康彦,中島秀明,山本卓二,副島之彦,笠原 浩(松本歯学, 9:118)

陶材センター

松本歯科大学学会例会(第16回)昭和58年6月 Caries Activity と諸因子の関係について:吉川満里子,長野朱実,横山幸代,鈴木 稔,伊比 篤,橋口緯徳(松本歯学, 9(1):107-108, 1983)

日本歯科技工士学会学術大会(第5回)昭和58年7月

石膏模型の吸水度:坂口賢司,宮川 崇,谷内秀寿,清水幸子,宮原啓次郎,伊比 篤,橋口緯徳(第5回大会講演抄録, 31, 1983)

日本歯科技工士学会学術大会(第5回)昭和58年7月

加圧埋没法に関する研究:伊比 篤,坂口賢司,橋口緯徳(第5回大会講演抄録, 76, 1983)

松本歯科大学学会総会(第17回)昭和58年11月抜去歯牙の色彩に関する研究:鈴木 稔,伊比 篤,橋口緯徳(松本歯学, 9(2):246-247, 1983)

松本歯科大学学会総会(第17回)昭和58年11月心身障害者施設の Caries Activity と口腔内状態に関する研究:吉川満里子,長野朱実,横山幸代,鈴木 稔,橋口緯徳(松本歯学, 9(2):247-248, 1983)

電子顕微鏡室

歯科基礎医学会総会(第25回)昭和58年10月病的石灰化組織に関する病理学的研究(第1報) Calcinosis Universalis について:川上敏行,中村千仁,河住 信,長谷川博雅,枝 重夫,赤羽章司,山崎 正,高須信行(歯基礎誌, 25(抄録集):170, 1983)

歯科基礎医学会総会(第25回)昭和58年10月病的石灰化組織に関する病理学的研究(第2報) Basal Cell Adenoma にみられた石灰化物について:中村千仁,金子 至,長谷川博雅,河住 信,川上敏行,枝 重夫,赤羽章司,山崎 正(歯基礎誌, 25(抄録集):289, 1983)

松本歯科大学学会総会(第17回)昭和58年11月病的石灰化組織に関する病理学的研究(第3報) Cemento-ossifying Fibroma について:河住

信,長谷川博雅,中村千仁,川上敏行,枝 重夫,山本一郎,平山政彦,赤羽章司(松本歯学, 9(2):244-245, 1983)

松本歯科大学学会総会(第17回)昭和58年11月食品の中から現われた歯牙片の鑑定例:金子至,長谷川博雅,河住 信,中村千仁,川上敏行,枝 重夫,赤羽章司,山本勝一,大谷 進(松本歯学, 9(2), 245-246, 1983)

松本歯科大学学会総会(第17回)昭和58年11月農業被曝下のシナップスと筋紡錘の変化(電顕および細胞化学的所見):青木京子,川原一祐,中川博司,赤羽章司(松本歯学, 9(2), 255, 1983)

松本歯科大学学会総会(第17回)昭和58年11月 Mucoepidermoid Carcinoma の微細構造,第2報:赤羽章司,川上敏行,中村千仁,河住 信,長谷川博雅,枝 重夫,小松正隆,古沢清文,井手口英章(松本歯学, 9(2), 257, 1983)

松本歯科大学学会総会(第17回)昭和58年11月 Epulis Fibro-osteomatosus の1例に見られた immature bone の EPMA 分析について:長谷川博雅,河住 信,中村千仁,中島和敏,井手口英章,古沢清文,赤羽章司(松本歯学, 9(2), 258-259, 1983)

衛生学院

日本歯科技工士学会学術大会(第5回)昭和58年7月

石膏模型の吸水度:坂口賢司,宮川 崇,谷内秀寿,清水幸子,宮原啓次郎,伊比 篤,橋口緯徳(第5回大会講演抄録, 31, 1983)

松本歯科大学学会総会(第17回)昭和58年11月歯科教育における技術適応能力診断の方法論的研究 CPI と YG 性格検査の年度的推移(2):清水みや子,原田弥生,宮川 崇,松浦寛子,谷内秀寿,坂口賢司,橋口緯徳(松本歯学, 9(2):246, 1983)

その他の記録

口腔生化学教室

酵素活性調節の新しい考え方—調節因子としての微量金属:平岡行博,(化学と工業, 36(1):125-126, 1983)

口腔外科学教室第II

Junji Machida (International Committee Cleft Palate Journal) : Abstracting Japanese articles on cleft lip/palate and related matters for the Cleft Palate Journal as appeared on pages 47, 48, 50, 51, 179, 180, 181, 268, 269, 271, 272, 346, 348, 350, 351 and 352, Volume 20, 1983.

昭和58年度文部省科学研究費補助金による研究

平岡行博(口腔生化) : 口腔内細菌産生アルギニンアミノペプチダーゼの金属イオンによる活性調節 (奨励研究(A))

中村 武(口腔細菌) : 歯周病における組織破壊の細菌学的・免疫学的研究 (総合A, 代表 高添一郎) *Propionibacterium acnes* の phospholipase C の精製とその性状 (分担課題)

小松正降(口腔外科II) : 口腔癌培養細胞におけるジペプチジルペプチダーゼ (DPP) IV の酵素変化の検索 (奨励研究A)

渡辺達夫(障害者歯科学) : 重度心身障害者の歯科的ストレスに関する研究 (一般C)

学会主催

第11回日本障害者歯科学会総会, 昭和58年9月23・24日, 会場: 松本歯科大学, 総会長: 笠原 浩